



《依存母子》(2013年 130×162cm キャンバスに油彩・アルキド樹脂絵の具/部分)

若手アーティスト支援プログラム Voyage

ハタユキコ展

夏の幻視

2017年7月22日[土]～9月10日[日] 月曜休館
 塩竈市杉村惇美術館 10時～17時 (入館受付16時30分)

観覧料 (企画展+常設展セット)
 一般 500円 大学生・高校生 400円 中学生以下無料
 団体 (20人以上): 一般 400円 大学生・高校生 320円

塩竈市杉村惇美術館

SHIOGAMA SUGIMURA JUN MUSEUM OF ART

主催：塩竈市杉村惇美術館

〒985-0052 宮城県塩竈市本町8番1号 電話 022-362-2555 FAX 022-794-8873

<http://sugimurajun.shiomo.jp/>

「その世界は隔絶しているからこそ滑稽で、涙が出るほど美しいと思う。」

(ハタユキコ「創作理念」より)

今回ご紹介するハタユキコは、作品に描いた世界についてこのように述べています。そんな彼女が真摯に現実と向きあい、もがきながら生み出した作品は、社会の複雑極まりない様相から人間の繊細な内面まで描き出し、作品を読み解いていくカギともなる豊富な要素と鮮烈な色彩で観る者をひきつけます。

果たしてそれは現実世界なのか、それとも幻あるいは何かの予兆として描かれたのでしょうか。いずれにせよ、作品の隅々に目を凝らすことで、それまで見えていなかったことに視界が開けてくるかもしれません。

本展が、作家の目を介して見る社会との新たな出会いとなり、作品を読み解くおもしろさを体感する機会となれば幸いです。



《夏の幻視》2013年 145.5×89.4cm パネルに油彩・アルキド樹脂絵の具(部分)



《夏光》2015年 192×162cm キャンバスに油彩(部分)

関連企画

※事前申込制

ワークショップ

顔出し！ダンボール大漁旗をつくろう

7月30日[日] 14時～16時 | 講習室 | 無料

巨大な大漁旗風デザインのだんボールを、鮮やかな色づかいで彩ります。完成した作品は会期中、館内で展示します。

クロストーク

絵画の企みを読み解く

8月11日[金・祝] 14時～15時 | 企画展示室 | 展示観覧料

三瀬夏之介氏(日本画家・東北芸術工科大学教授)×坂本大三郎氏(山伏・イラストレーター)×ハタユキコ氏(画家)

身体表現ワークショップ

ゆらゆら！まっすぐ脱線ダンス。

8月27日[日] 14時～16時 | 大講堂 | 参加費 300円

心のなかにあっても普段なかなか表に出せないような大きなエネルギーで、大講堂ののびやかな空間でもおいきり体を動かし、表現します。

ファシリテーター：川畑えみり(ダンサー) / 対象：小学4年生から中学3年生

ハタユキコ

1988年宮城県仙台市出身、仙台市在住。2014年東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術文化専攻修了。

【個展】「ヒューマン・コンプレックス」(art room Enoma / 仙台 / 2012年)、「ヒューマン ERROR」(Ideha cleation / 鶴岡 / 2013年)、「擬態する絵画」(GALLERY b.TOKYO / 東京 / 2014年)【グループ展】「LITTLE AKIHABARA MARKET—日本のイコノロジーの復興」(六本木ヒルズ森ビルA/Dギャラリー / 東京 / 2014年)、「東北画は可能か?—地方之国現代美術展」(T-Art Gallery / 東京 / 2015年)ほか

【プロジェクト】「ひじおりの灯」(山形県大蔵村肘折温泉 / 2012年)

若手アーティスト支援プログラム Voyage とはこれからの活躍が期待される若手アーティストの可能性に光をあて、新たなステップを提供することを目的に、展覧会やトーク、ワークショップ等さまざまな表現の場を設けるプログラムです。また、多くの人々が、新たな才能や感性と出会う場となるよう取り組んでいます。

お問い合わせ

塩竈市杉村惇美術館

SHIOGAMA SUGIMURA JUN MUSEUM OF ART

宮城県塩竈市本町8番1号 / 電話 022-362-2555

<http://sugimurajun.shiomo.jp/>

塩竈市杉村惇美術館